

授業概要

現代では、学校を含むさまざまな場において、宗教を「学ぶ」ことの重要性が提言されています。それは、宗教が社会の多様な価値観や文化の形成にとって、大きな役割をはたしてきたからです。その役割を知ることは「社会とは何か」「文化とは何か」「人間とは何か」という大きな問題について考えるための、ひとつのきっかけを発見することを意味します。現代社会においては、信仰を持っている人々も、そうでない人々もいますが、その違いにかかわらず、宗教を学ぶことには「人間を知る」ことへのヒントが隠されているのです。

この授業には、「一神教世界とわたしたち」という副題がついています。一神教とはユダヤ教、キリスト教、イスラームという三つの宗教をさします。一神教世界の長い歴史と豊かな文化を学ぶことは、現代社会を生きるうえでさまざまな示唆を与えてくれるはずで、また、宗教についての考え方を考えるために、宗教学における理論や概念についても紹介します。具体的には、①宗教学の基本的な考え方、②三つの一神教の歴史、③現代社会における一神教世界、という三つの主題で構成された講義をおこないます。宗教を学ぶことを通じて、異文化理解や他者とのかかわりについて、ひとりひとりが自分の考えや意見を持つことをめざしていきます

授業計画

| | | |
|--------|----------|-----------------------------------|
| 第 1 回 | 宗教学とはなにか | イントロダクション。宗教学という学問の基本的な発想 |
| 第 2 回 | 一神教とはなにか | 一神教という近代的な概念 |
| 第 3 回 | ユダヤ教① | 聖書時代のユダヤ教の成立からラビ・ユダヤ教の誕生までの歴史 |
| 第 4 回 | ユダヤ教② | 中世と現代のユダヤ教文化 |
| 第 5 回 | キリスト教① | キリスト教の成立から中世の西方キリスト教世界の確立までの歴史 |
| 第 6 回 | キリスト教② | 宗教改革以降の近現代のキリスト教 |
| 第 7 回 | イスラーム① | イスラームの成立 |
| 第 8 回 | イスラーム② | 現代イスラーム世界の展開 |
| 第 9 回 | 教典 | 宗教学の教典論、および現代の一神教世界における教典の受容について |
| 第 10 回 | 共同体 | 宗教社会学の理論、規則と共同体、聖と俗の社会、宗教とナショナリズム |
| 第 11 回 | 聖地 | 宗教学における「聖地」の概念、一神教世界の聖地巡礼と世俗化の関係 |
| 第 12 回 | 回心 | 宗教的な回心体験についての研究、現代の宗教復興 |
| 第 13 回 | 暴力 | 宗教と暴力についての研究、正戦と聖戦、現代における宗教の過激化 |
| 第 14 回 | 共存 | 諸宗教の共存についての三つの事例 |
| 第 15 回 | まとめ | 宗教間対話と宗教多元主義、レッシング『賢人ナータン』講読 |
| 第 16 回 | 定期試験 | |

到達目標

- 三つの一神教の歴史や重要な用語を説明できる。
- 現代社会における宗教の諸テーマについて、自分の意見を表現できる。また、それらのテーマのひとつについて、宗教学の概念や理論を使いながら、より深く考察し、論じることができる。
- 宗教を「学ぶ」ための具体的なアイデアを提示することができる。

履修上の注意

- 講義ではプリント資料とスライドを使用します。かならずノートを取ることを心がけてください。
- 欠席回の資料を翌週に受け取ることは原則としてできません。講義資料は Microsoft Teams にアップする予定なので、必要に応じてそちらから入手してください。
- 本授業は春期と秋期に同じ内容で開講します。原則として履修できるのはどちらか 1 つとなります。

予習・復習

- 講義資料は授業日前日に Microsoft Teams にアップしますので、必要に応じて予習をしてください。
- 講義で使用したスライドも授業後にアップしますので、復習に役立ててください。
- 宗教学やユダヤ教・キリスト教・イスラームの文献を授業内で紹介しますので、積極的に読みましょう。
- インターネットにもさまざまな情報があります。信頼できる情報を授業で紹介します。

評価方法

①リアクションペーパー提出を含む平常点 (30%)、②小テスト (20%)、③定期試験 (50%)

テキスト

- 教科書は指定しません。必要なテキストは授業内でプリント配布します。